

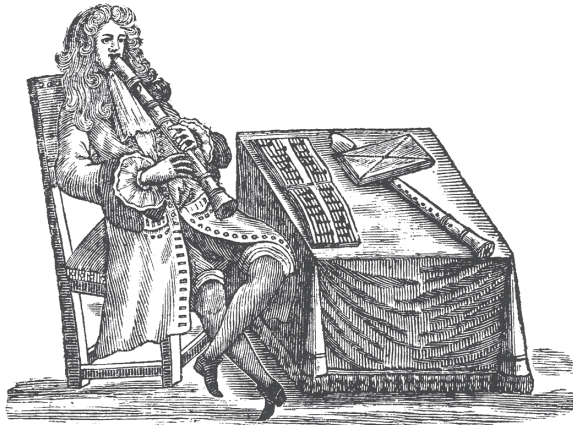
リコーダーでコレツリ

リコーダー

本村睦幸

チェンバロ

三和睦子



アルカンジェロ・コレツリ：
ヴァイオリンソナタの18世紀編曲版より
ソナタ 作品5の4
ソナタ 作品5の5
ソナタ 作品5の10
フェルディナンド・デ・メディチ：
プレリュード (チェンバロソロ)
ドメニコ・スカルラッティ：
ソナタ ニ長調 K 492 (チェンバロソロ)



2018年4月20日[金]

Space 415

中野区新井2-48-12
<http://space415.info/>

JR中央線／東京メトロ東西線
中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣
「芦野」の表札がある入口を入れてすぐ右の建物の2階

休憩なし60分のトークコンサート

同プログラム3回公演

昼 13:30 開演 (13:00 開場)

夕 16:00 開演 (15:00 開場)

夜 19:40 開演 (18:00 開場)

全自由席 ¥3,000 要予約

■ご予約・お問い合わせ

デ・ルストホフ: lusthof.concerts@gmail.com

あしの: 090-6045-9311

<http://mutsuyukimotomura.com/>

中野の Space 415 で、トークを含め、休憩なし 60 分のプログラムを 1 日 3 公演行う「小さな室内楽」。第 29 回は、コレッリのソナタを中心とするプログラムです。コレッリは、17 世紀末から 18 世紀初頭にかけて、ソナタ集や合奏協奏曲集を出版し、決して多作ではないにも関わらず、ヨーロッパ中に影響を与えました。コレッリ以降の作曲家がソナタを作曲するときには必ずコレッリを範としたと言っても過言ではありません。中でも、1700 年の作品 5 のヴァイオリンソナタ集は編曲版も数々出版されています。リコーダー編曲版としては、ロンドンのウォルシュが 1702 年に出版した後半 6 曲と 1704 年に出版したドイツ人作曲家ペツによる第 3, 4 番が知られています。これらからそれぞれ 1 曲ずつと、1754 年にパリで出版された前半 6 曲のフルート版からも 1 曲選曲しました。

そして、今回のチェンバリスト三和睦子さんが選曲された曲は、今年が没後 250 年にあたるスカルラッチェのソナタに加え、音楽の庇護者として有名なトスカーナ大公子フェルディナンド・デ・メディチが自ら書いた作品という大変興味深いものです。今回もどうぞお楽しみに。

★ 約100m先左側(児童館手前)

**⑤ 二本目の角を左折
(角切りに沿って)**

④ 体育館の次の信号を右折

③ 中野体育館信号を左折

**② 左手のエスカレーター
/階段を登る**

**① 中野駅北口下車
JR/東西線**

Space 415
〒165-0026
中野区新井2-48-12
電話03-5380-2430

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

東洋のナポリに生まれる(笑)。中 2 頃リコーダーにはまり、それをこじらせたまま現在に至る。アムステルダム音楽院卒。W. ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年に渡る活動を経て、2001 年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にとっての聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開している。現在は、リコーダーに本来の小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズを東京での活動のベースにおきながら、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉や、古楽器に限らない多様な演奏家との共演、現代作品の委嘱なども通じてリコーダー音楽の可能性を追求している。CD に「オランダバロックの愉悅」、「バルサンティ:リコーダーソナタ全 6 曲」、「無伴奏リコーダー 600 年の旅」があるほか、昨年は、CD「テレマン:無伴奏フルートのための 12 のファンタジア」に加えて、同曲集のアルトリコーダー版を全音楽譜出版より校訂出版している。高田馬場リコーダー練習所コーチ。デ・ルストホフ園長(自称)。ホームページは、<http://mutsuyukimotomura.com/>



三和睦子 Mutsuko Miwa (チェンバロ)

桐朋学園大学古楽器科及び同研究科修了。相愛大学古楽器科非常勤講師を経て、兵庫県新進芸術家海外留学助成事業の 1 期生として、ベルギー・アントワープ王立音楽院に留学。最高榮譽賞付ディプロマを得て卒業。オーストリア・スティフトメルク古楽コンクール特別賞。1996 年よりプリュージュ国際古楽コンクール公式伴奏者。ソリストとしてプリュージュ国際古楽祭、ユトレヒト古楽音楽祭、フライブルク国際音楽祭などに出演。室内楽奏者として、イル・フンダメント、ベルギー・フランドルオペラ座、ブラジル・サンパウロ市立劇場などと共演。1999~2006 年アントワープ王立音楽院講師。2006 年文化庁芸術家在外研修員。